

平成29年度事業計画

公益社団法人 K n o t s

当法人の活動目的は、人も含めたすべての動物達を幸せにすることである。そのためには、人も動物よりもより良い形で共生出来る社会の構築が必要となる。そこで、当法人は人と動物のより良い共生を進めるための啓発、教育、研究事業、そして目的を達成する為に必要なあらゆる事業を国内外のその分野の関係団体、専門家、行政機関等に幅広く連携を求めて実施していく。

昨年は、平成28年熊本地震が起こり、当法人でも対応することとなった。阪神・淡路大震災の経験から始まった当法人の成り立ちと歩みに改めて向き合い、本年も、真摯に事業に取り組んでいく所存である。

1) 啓発事業

(1) 第5回 神戸すべての生き物のケアを考える国際会議2019 (ICAC KOBE 2019)

阪神・淡路大震災15周年を契機に2010年に「第1回 神戸アニマルケア国際会議」を開催し、その後、2年に1回実施。2014年より「神戸 全ての生き物のケアを考える国際会議」(略称: ICAC KOBE) と名称変更。2015年には、震災20年記念大会を開催。

人も含めたすべての動物の「命」に対する責任について考え、人を含む動物が幸せに共生できる社会の構築を目指し、震災で多くを学んだ経験から、情報交流・情報発信を行っていく為に2年に1回実施予定。

2017年の開催を予定していたが、平成28年熊本地震の影響により延期を決定。2019年の開催を目指す。本年は、会議開催に向けての基盤整備を主に行う。

開催予定日: 2019年を予定

開催場所: 未定

(2) りぶ・らぶ・あにまるず フェスティバル 2017

初心者向けドッグスポーツ大会、補助犬、ワーキングドッグのデモンストレーション、神戸市犬猫譲渡制度のPR等動物に関わる様々な団体が一堂に会してのイベントを実施。

阪神・淡路大震災から5年が経ったとき、様々な困難を乗り越えて、楽しい時間を取り戻して貰おうと開始した事業であり、動物と暮らすことの楽しさ・素晴らしさを実感して頂き、それを支える飼養マナーの啓発や動物との暮らしを通じての世代間交流も図り、人と人、人と動物の幸せな共生社会の構築に寄与する。特に近年では、ペットと暮らすことの双方の生理学的な好影響も明らかになってきており、高齢者や子ども達への、心理的・教育的影響とも合わせ、人類が長い歴史の中で培ってきた生物としての共生関係に基づく、人とペット双方の心身の健康への貢献についても情報共有を図る。

また、六甲山カンツリーハウスドッグラン事業と連携した開催とし、人と動物の共生情報発信拠点構築の一助とする。

開催日 : 10月22日(日)・29日(日)

開催場所: 六甲山カンツリーハウス(神戸市)

【付帯事業】

「りぶ・らぶ・あにまるず賞 2017」

人と動物の共生に尽力した企業・団体を選出し、「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル」会場にて表彰式を行う。（該当がある場合のみ。）

(3) 「ずっと一緒に居ようよ」プロジェクト その次へ

本フェスティバル関係者にて発起した東日本大震災被災者支援に端を発するプロジェクト。

「その次へ」と題し、緊急時のみならず、平時においても人と動物の絆が保持されるよう支える方策を考えていくことを中心に事業を行う。

昨年度は、平成 28 年熊本地震に際し、募金とペットと暮らす被災者の方が入居の際の支援を行なった。募金は終了したが、引き続き、対象者があれば、資金の範囲内で支援を継続する。

(4) 奈良県「いのちの教育展開事業」連携協定事業及び教育事業

24 年度に奈良県と締結した『奈良県いのちの教育展開事業』に於ける連携協定に基づき、奈良県「いのちの教育」プログラムの普及を奈良県と共に推進する。動物を通じた教育は、いのちを大切にし、共感を育む教育として文部科学省の指導要領にも盛り込まれており、アジア型ヒューメイン・エデュケーション構築に取り組み、人も動物もお互いを思いやれる未来へ寄与するものである。

(5) 教育ツール共有事業

現在、全国の動物愛護（管理）センターなどでは、「いのちの大切さ」や「適性飼育」「殺処分数減少」を目的とした、子どもたちへの教育活動の必要性に対する認識が高まっている。

こうした現状を踏まえ、これまでに各地の動物愛護（管理）センターと共に企画開発を行い、すでに導入されて教育現場で実績のある動物愛護教育およびヒューメイン・エデュケーションに関するツール類を共有する事業を展開する。また、使用実績や実施レポートなどの情報を報告し、日本におけるヒューメイン・エデュケーションの向上と各自治体間の連携の促進を目指す。

(6) 六甲山カンツリーハウス わんわんドッグフェスタ運営協力

期間限定のドッグラン、ワンちゃん大運動会等のイベント等の運営協力を行う。

本事業にたくさんの飼い主さん・ワンちゃんにご参加頂くことで、動物と暮らす楽しさ・幸せを実感して頂く。ひいては、より良い共生推進の一助とする。

本事業においては、飼い主さん・ワンちゃんのマナーも素晴らしく、登録ワンちゃんも、今年度 1 万頭を迎える。当方人の基幹事業である「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル」を六甲山カンツリーハウスとの連携開催とするなど、主に関西を中心に飼い主さんへ向けての情報発信拠点構築を図り、人も動物も幸せな共生の在り方を模索する。

(7) 野生動物有効活用推進事業

増えすぎた野生動物が各地で農業被害や森林被害を起こしている。動物達やその生息環境を守る為にも野生動物の保護管理は行わなければならない。天敵を失った動物達には頭数調

整といった管理も必要になる。そこで、有害鳥獣、あるいは頭数調整の為に捕獲した野生動物達の「命」が無駄にならない様、肉・骨・皮等を有効活用する取り組みが始まっている。

当法人でも、「有効活用」の取り組みを、広く一般の方々に知って頂く為の情報提供や犬用おやつの開発製造販売を、地元の主婦グループや知的障害者作業所の方々と一緒に実施していく。

有効活用の推進が、「環境を守り、生態系を保全し、地域振興」へとつながる。

(8) 人と動物のより良い共生を推進する為の事業への参画・参加

必要に応じて、他団体や行政他が主催する事業等（協議会・研究会・催事等）への参画・参加を行う。

<協議会・研究会>

「野生動物研究グループ」（事務局：兵庫県森林動物研究センター内）

「神戸市人と猫との共生推進協議会」（事務局：公益社団法人神戸市獣医師会）

(9) 各種コンサルティング、相談業務の実施

動物と安全に楽しく暮らすための相談対応、野生動物との関わり方等、人と動物の共生に係る様々な相談に対応。また、人も動物も快適な住まいや旅行等の商品開発の為のコンサルティングを実施。人と動物のより良い共生を推進し、人も動物も幸せにする為に、必要な相談及びコンサルティングを行う。

(10) 障害者の自立支援事業

知的障害者の方々の自立支援及び人と動物の幸せの為、安全安心な犬用おやつを知的障害者の方々と協力して開発・製造・販売する。また、事務局業務にも参加頂き、更なる自立支援とする。

(11) 情報提供事業

主にウェブサイト、メールマガジンなどを通して、幅広く不特定多数の方々に、人と動物の共生に関わる様々な情報を提供していく。

また、平成 29 年 1 月より、ペット産業情報新聞に「PIIA Knots リレー・エッセイ」の連載を開始。「人も（人以外の）動物も幸せな共生」をテーマに、識者の皆様よりメッセージを頂き、業として関わる方々にも、最新の概念をお伝えしていく機会とする。

2) 教育事業

(1) 情報提供による教育機会の提供

人と動物のより良い共生の推進の為に、主催する国際会議、セミナー等の内容は全て、後日、記録集（可能なものについては、日英両文にて製作）としてウェブサイト上で無料公開し、会議・セミナー等に来られなかった不特定多数の方々への教育の機会を提供する。

(2) 講師の派遣

専門学校・セミナー等への講師派遣を随時実施、人材育成、知識の向上、及び、青少年の

健全育成に貢献する。

3) 研究事業

企業・行政・団体等からの依頼により、人と動物の共生に関わる調査研究等を実施する。

4) その他、当法人の目的を達成する為に必要な事業

(1) 国内外の関係団体・専門家・行政機関等との連携促進

啓発・教育・研究事業とも関係各者の協力や連携があつてこそ、より大きな効果を生み出すことが出来るため、関わる様々な方々との連携の促進に取り組む。

(2) Knots ALOOHA Club の運営

賛助会員の新たな組織化方策として平成 27 年度より実施。活動に資金面で賛助頂くだけでなく、組織化し、事業の報告会や会員相互の理解促進を図り、本事業を社会への啓発・教育事業としていく取り組みを実施する。

(3) その他

必要に応じて、可能な範囲で当法人の目的を達成する為に必要な事業を実施していく。